

福岡県の主要な労働施策と課題について

[労働政策課]

○論点となるテーマ

デジタル技術を活用した就労支援等について

- ① コロナ禍の臨時的な対策として、ウェブを活用したリモートによる就職相談、合同会社説明会・面接会、インターンシップ等を実施してきたが、求職者・企業の双方からウェブ活用について評価があったことから、今後もウェブを活用した事業を継続実施していく予定。
- ② 世界トップクラスの半導体メーカーTSMCの熊本進出等、半導体関連分野で工場の新設、増強の流れが続いており、県内の技術系の人材不足や県外流出が懸念されることから、半導体関連企業と求職者・学生とのマッチングを図る事業（合同会社説明会・面接会、インターンシップ）を実施予定。
- ③ 今年度、ひきこもり等長期無業の若者を対象に、メタバースでのアバターを活用した就労支援を調査研究事業として実施中。アバターによる個別相談等の就労支援を行っており、成果・課題を検証し、今後の展開について検討中。

○議論いただきたいこと

①～③について、求職者や企業に広く活用していただき、より多くの就職につながるようにするには、どのような視点での工夫が必要か、ご意見をいただきたい。

「デジタル技術を活用した就労支援等について」

① ウェブを活用した就職支援について

※ R4の実績は、R4年9月末時点

<p>若者就職支援センターの ウェブ活用型相談支援の 強化と利用促進</p>	<ul style="list-style-type: none">ウェブを活用したキャリアコンサルティング、職業相談、就職後のフォローアップ支援等について、相談体制を強化【スカイプ相談実績】 R1:1件、R2:678件、R3:1,127件、R4:633件地元企業が県内外の若年求職者に対し、経営者や採用担当者の想い、企業の働き方改革の取組等をPRできる場として「オンライン座談会」を実施（R4年度予定:48回）【実績】 R4:28回開催、130人参加、84社参加県内大学やUIターン就職支援協定締結校等のキャリアセンター担当者向けに、センター利用促進のための事業説明会をウェブで開催【実績】 R4:3回開催、42校参加
<p>合同会社説明会 ウェブインターンシップ</p>	<ul style="list-style-type: none">新型コロナウイルス感染症の影響が続く中においても、企業と求職者の出会いの場を提供し、効率的にマッチング支援を行うことができるよう、ウェブを活用した合同会社説明会、インターンシップを実施【合同会社説明会実績】 R3:9回開催、1,424人参加、362社参加 R4:4回開催、396人参加、160社参加【インターンシップ実績】 R3:3回開催、160人参加、38社参加 R4:1回開催、132人参加、27社参加ウェブ説明会やウェブ面接等を行いたいが、そのノウハウがないといった県内企業を対象にセミナーを開催【実績】 R4:6回開催、105社参加

〈合同会社説明会 参加者・企業の声〉

〈参加求職者の声〉

- 大手リクルートサイトでは出会えない、穴場の企業と出会うチャンス。
- 現時点では興味のない業種の会社説明も積極的に聞きたい。
- 気楽に質問しやすく、自分以外の参加者の質問も多かったのとても良かった。

〈参加企業の声〉

- 会議室などでの合説より時間を有効に使える。移動時間もなくてよい。
- 自前の採用活動では会うことができない方にアプローチできる可能性がある。
- 参加料が無料だったため、企業にとってはチャレンジするいいきっかけとなった。

〈ウェブインターンシップ 参加者・企業の声〉

〈参加学生の声〉

- 福岡県に魅力を感じているが、対面だと福岡県に行くのは難しいため、オンラインで家にいながら福岡県の企業を体験できる貴重な機会だった。
- ウェブでのインターンシップのため、参加するハードルが下がった。ウェブでも十分に企業の魅力を知ることができ、画面越しでも企業の熱意を感じることができた。

〈参加企業の声〉

- インターンシップからエントリーに至った学生がおり、採用活動につながる縁をいただいた。
- なかなか出会える機会の少ない学生と出会う、全国の学生の就職に対する意識なども知ることができた。

「デジタル技術を活用した就労支援等について」

② 半導体産業振興のための人材確保支援

- ◆世界トップクラスの半導体メーカーの近隣県進出等の影響で、県内の半導体関連企業の人材不足・県外流出が懸念される。
- ◆優秀な人材を県内企業に呼び込むためには、県内外の求職者や学生に本県で働く魅力や県内企業の魅力を知ってもらうよう、県内企業とのマッチングの場を提供していく必要がある。

<p>半導体関連企業特化型 オンライン合同会社説明会・面接会</p>	<ul style="list-style-type: none">◆県内半導体関連企業と半導体関連企業に転職・就職を希望する県内外の技術系人材とのマッチングを支援するため、オンライン形式での合同会社説明会・面接会を開催◆対象者 福岡県内の半導体関連企業に転職・就職を希望する方又は、半導体関連の仕事に興味がある方 各回60人程度◆参加予定企業数 各回40社程度◆開催時期・回数 3回(R4年12月、R5年1月、2月)
<p>半導体関連企業特化型 インターンシップ</p>	<ul style="list-style-type: none">◆県内半導体関連企業の技術や魅力を、県内外の理工系学生を対象に発信するため、ウェブインターンシップを実施◆対象者 県内外の卒業年次以外の学生 80人程度◆参加予定企業数 40社◆実施日数 5日間程度◆実施方法(予定) 8人1組のグループを組み、5日間で4社のインターンシップを実施(1日目はオリエンテーション、2日目以降各社1日)◆開催時期 R5年1月～3月 (大学等の冬休み、春休み期間中)

「デジタル技術を活用した就労支援等について」

③ デジタル技術活用型の若者自立就労支援に係る調査・研究事業

◆県内の若年無業者は、3万3千人と推計され、支援機関へ自ら出向くことが困難な若者も少なくないことから、自宅にいながら自立就労に向けた支援につながるよう、バーチャルでの支援とリアル型の若者自立就労支援を組み合わせた仕組みづくりを進める調査研究事業を実施。

バーチャル空間(メタバース)での
若年長期無業者の就労支援

- ・ 県内若者自立就労支援機関、有識者、関係行政機関による研究チームを立ち上げ、バーチャル空間(メタバース)に「ふくおかバーチャルさぼーとROOM」をR4年4月に開設。
- ・ 相談支援、交流の場づくり(コミュニケーショントレーニング)、スキルアップ支援等の試行実施と効果検証を実施しており、R4年9月末までに約30人の当事者が利用。
- ・ 外出の苦手な利用者にとって、アバターでの相談等は参加へのハードルが下がり、練習を重ねることにより、「若者サポートステーション(※)」での対人型の支援と組み合わせ、就労や社会参加につながる成果が得られている。
- ・ 試行検証を踏まえて、バーチャル就労支援の本格実施を目指す。

(※) 長期無業の状態にある若者の職業的自立に向けた支援を行うため、県内4か所の若者サポートステーションにおいて、国と連携し、個別相談、コミュニケーション能力向上のための研修、働く自信をつけるための就労体験の機会等を提供している。

アバターの例



・アバターの作成、操作方法等を学ぶオンラインセミナーを月2回開催。

アバターでの相談



・相談員がアバターとなり、バーチャル相談室でアバターとなった利用者と個別相談を実施。

アバター交流会
(コミュニケーショントレーニング)



・アバターとなった利用者が、音声やチャットでの会話を通してコミュニケーション能力を向上できるよう、アバター交流会を実施。

<デジタル技術活用型の若者自立就労支援研究チーム>

- ・デジタル技術有識者(大学教授等)
- ・精神科医(大学医学部准教授)
- ・若者サポートステーション(県内4地区)
- ・厚生労働省福岡労働局
- ・県(労働政策課、こころの健康づくり推進室、精神保健福祉センター)

ふくおかバーチャルさぼーとROOMの様子

